

会 議 録

1 会議名

令和4年度第3回吉川区地域協議会

2 会長挨拶

3 議題（公開・非公開の別）

・協議事項（公開）

（1）令和4年度地域活動支援事業提案事業の審査・採点について

（2）株式会社よしかわ杜氏の郷の民営化に関する意見に対する回答について

（3）令和4年度地域活動支援事業提案事業の採点結果と採択について

（4）その他

・総合事務所からの諸連絡について（公開）

・その他（公開）

4 開催日時

令和4年5月19日（木）午後7時30分から午後9時02分まで

5 開催場所

吉川コミュニティプラザ 3階 大会議室

6 傍聴人の数

1人

7 非公開の理由

なし

8 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：五十嵐豊、薄波和夫、江村奈緒美、大滝健彦、片桐利男、佐藤 均、
関澤義男、高野幸夫、中村正三、橋爪正平、平山浩子、山岸晃一

・事務局：風間所長、平山次長（総務・地域振興グループ長兼務）、渡邊市民生
活・福祉グループ長（教育・文化グループ長兼務）、平原総務・地域振
興グループ班長、霜鳥総務・地域振興グループ主任

・産業政策課：五十嵐課長、平原副課長

9 発言の内容（要旨）

【平山次長】

・会議の開会を宣言

- ・委員 1 2 人の出席を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・会議録の確認：薄波副会長

【山岸会長】

- ・挨拶

【平山次長】

- ・議長の選出について、上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により山岸会長から議長を務めていただく。

【山岸会長】

- ・議長を務めさせていただく。なお、議事録作成のため、発言をする場合は、挙手をし、私から委員の名前をお呼びするので、その後、発言をお願いする。発言は簡潔にお願いする。
- ・次に次第の 3 協議事項、(1) 令和 4 年度地域活動支援事業提案事業の審査・採点に入る。5 月 1 2 日に行ったプレゼンテーションの結果を踏まえ、今年度の地域活動支援事業に提案された 1 0 事業について審査及び採点を行い、採択の可否を決定したい。なお、本年度は既に、全提案事業の補助希望額の合計が、吉川区への配分額を超過しているが、1 0 事業の審査の結果、配分額の超過及び残額が確定しましたら、その取扱いについて、改めて協議いただく。審査に先立ち、採点方法を再確認したいと思うので、事務局から説明をお願いする。

【平原班長】

- ・本日の採点方法について、勉強会資料 1 - 1 の 3、6、7 を説明。

【山岸会長】

- ・今までの説明で審査手順の説明に意見・質問はあるか。
(意見・質問は無かった。)

【山岸会長】

- ・それでは審査に入る。1 番の『吉川区と上杉家の繋がり』大乘寺遺産保存・伝承・振興事業」の採点をお願いする。採点が終わったら机の上に置いて欲しい。事務局が集めて回る。
- ・続いて 2 番の「上越市立吉川小学校 2 0 周年記念事業」の採点をお願いする。
- ・続いて 3 番の「落語寄席事業」の採点をお願いする。

- ・続いて4番の「国田地域における古文書に親しむ機会を醸成する事業」の採点をお願いします。
- ・続いて5番の「長峰城址保存活用事業」の採点をお願いします。
- ・続いて6番の「尾神岳パラグライダーランディング整備事業」の採点をお願いします。
- ・続いて7番の「天岩戸尾神伝説PR事業」の採点をお願いします。
- ・続いて8番の「地域のお宝自慢」探検隊事業パート2地域のお宝マップづくり事業」の採点をお願いします。
- ・続いて9番の「吉川区昭和と平成の記憶記録事業」の採点をお願いします。
- ・続いて10番の「よしかわ道の駅活性化促進事業」の採点をお願いします。
- ・以上で、提案の採点が終了した。採点結果の一覧表を事務局が作成するので、それを基に、全員での最終審査を行う。事務局の集計作業はある程度時間がかかる見通しである。

【山岸会長】

- ・次に次第の3（2）「株式会社よしかわ杜氏の郷の民営化に関する意見に対する回答について」に移る。産業政策課、説明願う。

【五十嵐課長】

- ・これまでの地域協議会における説明内容をもう一度説明する。1月13日第10回地域協議会で第三セクターの経営健全化推進について、所管事務調査で説明した内容を地域協議会にも説明した。当法人の民営化は、市は出資、解散又は民間譲渡の選択肢のある中で、地域の酒造り文化の継承を念頭に民間譲渡を第一候補として、株式の価格算定などの具体的な手続きを進めていくこととした。そして、スケジュールは、6月に公募条件の整理完了し、8月に公募締切、9月に優先交渉者決定、10月に譲渡契約で説明させていただいた。今の進捗状況であるが、選定委員会を設けて内容的には、経営精通者、財務精通者2、3名、酒造業界の精通者、地域の代表者2人と考えている。行政も1人ということで、7人の選定委員会で進めている。公募条件、公募の結果、提案・選定で協力いただきたいと考えている。スケジュールは、1月の内容から少し遅れているが、10月、11月を目途に譲渡契約締結で進めたいと考える。
- ・資料2「株式会社よしかわ杜氏の郷の民営化に関する意見に対する回答について」説明

【山岸会長】

- ・質問等いかがか。

【片桐委員】

- ・観光協会で作った酒が300本残っており、100本の予約が入っているものの夏までには売り切りたいという話を聞いている。
- ・吉川の酒文化は、地域（住民）にとって重要で、強い思いがこもったもの。これを継承していただけるのか。

【五十嵐課長】

- ・旧吉川高校醸造科を有していたことや、地域の皆さんが酒に関して大変思い入れがあるということは承知している。（譲渡先を）選定する中での、理念の継承や地域貢献という項目を入れていく意向は持っている。また、歴史文化に加え農業の振興というところもあり、パルシステムと協定を結んでいることもある。総合的に考え、尊重させてもらいながら、進めていきたいと思っている。

【関澤委員】

- ・杜氏の郷は、吉川の大事な資源。重要視してもらいたい。
- ・スケジュール案について、6月公募・8月締切となっており、2か月間で、信頼のかける譲渡先が現れるのか。また、締切の後には、10月の譲渡契約と続いていく訳だが、非常に早急ではないか。
- ・できるだけ、上越市、吉川区の地域の発展に貢献できる良い譲渡先を選んでいただきたい。どんな譲渡先が候補として挙がってくるにせよ、協議会に情報提供、報告をお願いしたい。

【五十嵐課長】

- ・スケジュールについては、現段階で遅れ気味である。7月から公募開始に臨みたいと考えており、少しでも長く募集期間を取りたいと思っているが、9月に締切りとしたいと思っている。
- ・市議会の所管事務調査の報道が流れたこともあり、既に何社かから問い合わせをいただいている。追加して公開できる情報があれば、広報などでお知らせしていく。7月の公募前にも、市議会の所管事務調査で報告させていただく予定。株主の皆様にも同様に説明させていただく予定である。
- ・現在、選定委員の皆さんと選定項目や優先順位について話をさせてもらっているところ。

- ・最終的な決定についても、決定前に議会や株主の皆様の説明していく予定。

【片桐委員】

- ・吉川高校には660人の生徒が在籍していた。施設も見せていただいたことがあるが、醸造樽は10本ほどあり、すばらしい設備であった。また、醸造科で作った日本酒「若泉」も保存されていた。
- ・これら歴史的な価値あるものを民営化する際も残していただきたい。

【五十嵐課長】

- ・選定委員の中には、地元の精通者という立場でお願いする委員もいるので、皆さんの意見を反映できると思う。

【薄波副委員長】

- ・以前サウンディング調査を実施したと思うが、その情報は持っているか。

【五十嵐課長】

- ・今は持ち合わせていない。

【江村委員】

- ・15年ほど前に長野県の「養命酒」の工場見学に行ったときに、吉川高校醸造科出身の従業員の方が2人いらっしやった。すごく嬉しくなった覚えがある。
- ・吉川の酒文化は自覚したいし、継承してもらいたい。民間に譲渡されても、理解していただけるような譲渡先であると良いと思う。

【五十嵐課長】

- ・皆様の「思い」ということで、改めて承知した。反映させてもらいながら進めさせていただく。

【山岸会長】

- ・すばらしい内容の回答書をいただいた。
- ・市としてどのような選定方法を取るのか分からないが、地域の思いを一番にしていっていただきたい。銭勘定だけで選定した譲渡先ということだけは決してあってはならないと思う。
- ・あの建物は、地域の皆さんが望んでできあがったもの。経営が苦しいことは重々承知している。地域の思いと経営悪化、裏腹な要素ではあるが、「地域の思い」をしつかりと受け止めて欲しい。
- ・市長だけでなく、議長の方にも、今後、要望書として出していきたいと思う。

【五十嵐課長】

- ・回答書にもあるように、地域の皆さんの思いと酒造り文化の継承に重きを置きながら進めていきたいと思う。

【片桐委員】

- ・歴史はつながっていく。妙高のほうではカンズリの季節、そこのつながりも考えてみてはどうか。

【山岸会長】

- ・以上で（２）「株式会社よしかわ杜氏の郷の民営化に関する意見に対する回答について」を終わる。

（産業政策課退席）

【山岸会長】

- ・次に次第の３（１）地域活動支援事業の集計が終了したので、採点一覧について事務局説明願う。

【平原班長】

- ・全体の採点結果と個々の採点結果について説明。

【山岸会長】

- ・採点結果を基に審議する。採点順位１位の事業から確認するが、採択された事業について、市所管課からの所見の他に特記事項を付けることについて、意見をいただきたい。

（１位から１０位の事業全てを採択することとし、各事業に対し特記事項は無しとなった。）

【山岸会長】

- ・それでは、以上のように決定した。採択された事業について、事務局の方から提案団体に意向を確認していただき、結果について後日協議会に報告願う。報告をいただいた後、協議会委員全員の承認をいただきたいが、提案団体の事業着手の時期もあるので、次回の協議会を待たず、書面決議とさせていただくことでよいか。

（異議は無かった。）

【橋爪委員】

- ・できれば不採択の２提案者に、会長コメントを入れるなど、不採択になった理由などのコメントを入れる訳にはいかないか。点数が未達だというだけで処理するのが何かかわいそうな気がする。

【薄波副会長】

- ・審査用紙に、採択の理由を書く欄があり、その理由が書いてあったら、伝えてもよいのではないかという気がする。

【橋爪委員】

- ・できれば書いてあげて不採択を承認してもらいたい。

【山岸会長】

- ・事務局、前例はあるか。

【風間所長】

- ・ここに来て2年間で不採択が1件だけあったが、その時に理由まで出したかという
と今不明である。

【山岸会長】

- ・過去に例がないことまで是非やれということであれば考えるが、よろしいか。
(異議は無かった。)

【山岸会長】

- ・では、これまでどおりとさせていただきます。
- ・次に次第3の(4)協議事項のその他に入る。4区の協議会正副会長会議は5月28日に総合事務所で会合を持つこと。ある区の会長から改めて文書を出すよう依頼され、経緯などを私が3区に伝える。合併後10年が担保された地域事業費が6年で撤退されたとき、私は最後まで反対していたのだが、他の地域協議会と連携できたらどうなっていたかと思う。中川市長に代わり地域予算の話が来て、今のところ、ソフト面とおっしゃっているが、この地域事業なども含めて、4区で横の連絡・意見交換、各協議会の動きの情報交換をさせていただく文書を出すので承知願いたい。
- ・事務局他にあるか。

【平原班長】

- ・地域協議会だよりの発行について、協議会からの意見書の提出、その回答という一連の動きを号外として5月25日付けで発行する。意見等いただきたい。

【山岸会長】

- ・協議会だより号外の件、いかがか。
(異議は無かった。)

【山岸会長】

- ・事務局他にないか。

【平原班長】

- ・協議会だより 43号の編集委員は、関澤委員、片桐委員、高野委員であり、後日改めて編集委員会について案内する。

【山岸会長】

- ・次に、次第の5 総合事務所からの諸連絡について、事務局から説明する。

【平原班長】

- ・5月26日の市長訪問時、総合事務所が車を出すので、参加される委員は、午前10時までに、コミュニティプラザ正面玄関にお集まりいただきたい。後ほど案内文書を配付する。

【山岸会長】

- ・今ほどの諸連絡について、質問等はあるか。

【江村委員】

- ・いつまでに報告か、自家用車で参加可能か2点確認したい。

【平原班長】

- ・出欠の連絡は前日まで。自家用車で木田庁舎に直接来ていただき、玄関か秘書課の前で待ち合わせたい。

【山岸会長】

- ・他にあるか。

【風間所長】

- ・先ほど審議した特記事項であるが、勉強会等で出された法令順守や権利の侵害等の意見についても提案団体に伝え、確実な事業執行をお願いする。

【片桐委員】

- ・特記欄にどの担当課からの意見ということで記載するということか。

【風間所長】

- ・特記事項は決定通知に付す予定はないが、各課等の所見を伝え、この他に協議会で出された注意等を提案団体に伝えるということである。

【山岸会長】

- ・次第5 その他であるが、次の協議会の日程は6月16日（木）18時30分からである。
- ・閉会の挨拶を薄波副会長お願いする。

【薄波副会長】

- ・地域協議会の審議について、結果は真摯に受け止めていただき、今後、対応くださる

ようお願いします。

- ・以上で第3回地域協議会を閉会する。

10 問合せ先

吉川区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL: 025-548-2311 (内線213)

E-mail: yoshikawa-ku@city.joetsu.lg.jp

11 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。